

「有限会社 やすかた畳ふすま店」

最新設備ラインで踏み出した

老舗畳店の新たな一歩

昭和45年の創業以来、小林市を拠点に畳・ふすま替えを行ってきた同社。増加する都城・三股エリアでの受注案件に迅速に対応するために、三股町に新たな畳製造ラインを設けました。



代表取締役

安縣 毅

やすかた つよし

高い熟練技術が求められる畳表の張り付け作業もボタン一つの操作で仕上がります。

ものづくりへの想い

お客さんと直にやり取りをするので、反応をダイレクトに見られるんです。きれいになった畳をお戻した時に「きれいになった」と喜ばれる顔を見るのが一番の楽しみです。

今後の展望

導入した機械は薄型畳や琉球畳などの特注品も製造できるので、そのあたりのニーズを取り込んでいくのと、内装・リフォームの分野をさらに伸ばしていきたいです。



天然い草の畳表には染土が付着しています。ブラシが高速回転することでその染土を除去していきます。

畳製造ラインを
新設し営業エリアの
拡大も視野に。

老

舗の畳店として小林市エリアで広く認知されていた同店。近年、都城・三股エリアからも畳替えの依頼が多数寄せられるようになったことから、平成26年、三股町に都城三股店をオープンさせました。ただ、都城三股店には窓口としての機能しかなかったために、引き受けた畳は工場がある小林まで持って行って作業をする必要がありました。

「通常であれば引き受けたその日のうちに作業を終わらせてお客さんにお返しするのですが、30kmも離れた小林へ往復しなければならぬこともあって2日間の待ち時間を頂戴していました。そんな状況が続いたものですからリピートオーダーの取り逃しなど客離れが発生していたんです」（安縣社長）

さらに、都城・三股エリアからの受注増によって小林での受注案件にも納期遅れが発生するようになっていたことから、早急に生産力を強化し、サービス低下を食い止める必要があったのです。

都

城三股店を設けてから1年後の平成27年、そのような状況を改善すべく、同店に新たな畳製造ラインが誕生しました。導入された機械は、

- ①土台の短辺を裁断してゴザを縫い付けるミシン
- ②畳の表面に付着している染土を除去するブラッシング機
- ③畳の長編を裁断し、畳縁を縫い付ける両用ロボット装置の3台です。

「この3台を順に通すことで畳が完成するのですが、これまでの2倍以上のスピードでしかも簡単に畳をつくれるんです。その上小林まで往復していた2時間を作業に当てられるようになったので、生産効率が格段に良くなりました」

生産効率が上がり時間に余裕ができた分、新たな事業として展開しているリフォーム業にも力を注げるようになったという同社。都城三股店を拠点に県南や国分市への営業展開も視野に入れていきます。

case

06

畳・ふすま等製造業

有限会社 やすかた畳ふすま店

設立：1970年

代表取締役：安縣 毅

資本金：300万円

従業員：5名

事業内容：畳・襖・障子の製造・販売、
内装工事の施工、網戸、
カーテンの販売。

小林
本店都城
三股店

〒886-0007

宮崎県小林市真方384-10

TEL. & FAX.0984-22-4566

〒889-1914 宮崎県北諸県郡

三股町蓼池4178

TEL. & FAX.0986-36-8620

<https://yasukata-tatami.com/>

ものづくり
補助金活用
ココが
ポイント！



最新設備で顧客サービス向上

生産時間が
35%
短縮

最新の畳製造ラインを増設したことで生産にかかる時間が大幅に短縮。納品するまで約2日かかっていたのが、即日対応できるようになり、サービス向上につながりました。

